

草津市と近畿運輸局は、令和4年10月26日に「地域連携サポートプラン」協定を締結し、これまでの間、本市の地域公共交通について現状把握や意見交換及び課題整理等を進めてきました。このたび、近畿運輸局において本市が抱える公共交通の課題とその解決に向けた提案がまとめられたことから、令和5年10月20日に国土交通省近畿運輸局から「地域連携サポートプラン」提案書の交付を受けます。

本提案書の交付を受け、引き続き、近畿運輸局と連携しながら、持続可能な地域公共交通ネットワークの構築に向け、提案内容を踏まえた地域公共交通計画を策定してまいります。

## 地域公共交通の課題

### ・課題①:現状に合わせた地域公共交通計画への移行

⇒各公共交通機関の経路の重複やバス運転手不足等の課題があることに加え、まちづくりに必要な地域公共交通と健幸都市くさつの連動が不十分である。

### ・課題②:人口増加に伴う渋滞対策

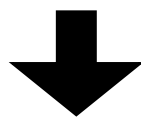
⇒駅周辺などにおいて、送迎車両等による渋滞が発生し、地域公共交通の定時性が損なわれている。

### ・課題③:財政負担の増加

⇒まめバスにおいて、利用者の少ない系統や区間があり、また、昨今の燃料価格高騰などで、運行経費が増加しており、市の財政負担額が増え続けている。

### ・課題④:地域公共交通の利便性向上・利用促進

⇒公共交通機関を利用したことがない方がおられ、住民が利用しやすいバス待ち環境や交通環境が整備されていない。



## 課題に対する提案

### ・提案①:公共交通ネットワークの再編と健幸都市くさつとの連動

⇒公共交通機関の役割分担の明確化や限られた輸送資源の総動員等を行い、また、福祉部局と連携し、健幸都市くさつの実現に向けて地域公共交通ネットワークの再編を図る。

### ・提案②:地域の関係者との連携と協働

⇒交通事業者等と連携した違法駐車や送迎車両への対策、バスロータリー内の車両導線を見直すことにより、渋滞の解消を図る。

### ・提案③:路線の見直し指標の設定と増収

⇒コミュニティバス等における利用状況に応じた路線の見直し指標の設定とまめバス車両等の広告枠を有効活用し、運行経費の削減や広告収入料を確保することで、財政負担の軽減を図る。

### ・提案④:地域公共交通の利便性向上・利用促進

⇒住民へまめバス等の回数券の全戸配布や公共交通の乗り方教室の実施、また、地域や地元企業等と連携しバス待ち環境を改善することにより、公共交通の利便性向上や利用促進を図る。